

オープンキャンパス報告(2022年8月7日～8日開催)

アドミッション実施委員会 委員長 平野 美千代

今年度のオープンキャンパスは2年ぶりの対面開催となりました。COVID-19感染拡大前、本学科のオープンキャンパスは2日間で1,000名近くの来場がありました。今年度は感染対策を講じた上での実施となり、各日午前・午後の参加人数を100名、2日間の定員を400名とし、先着順の予約制としました。あわせて、個別相談会も予約制としました。オープンキャンパス、個別相談会ともに早期に定員に達し、多くの方が本学科に興味関心をお寄せくださいました。図1に示すとおり、参加者の多くは高校生であり、高校2年生が46%でした。当日、来学できなかった人もオープンキャンパスの内容を共有できるよう、本学科公式You tubeチャンネルにオープンキャンパスで実施した学科紹介と5専攻の紹介をアップロードしています(URL : <https://www.youtube.com/channel/UCJLmk4xK3QvPuvuU2CgPNCg>)。

オープンキャンパスでは、学科紹介、専攻紹介後に専攻探訪を実施しました(写真1)。今年度の特徴の一つは、参加者が興味のある二つの専攻を選び、その専攻が実施する専攻探訪プログラムに参加することでした。進学を希望する専攻の他にもう一つ専攻を探訪することで、5専攻を有する本学科の特徴を理解する一助になっていました。参加者からは「希望の専攻のみ参加できれば充分だと思っていましたが、他の専攻も参加できて視野が広がりました」「二つの専攻探訪プログラムに参加できるシステムが良かった」「自分が志望している専攻以外の講義も十分に楽しめた。視野が広がった」等の感想がありました。専攻探訪プログラムは表1のとおり、講義、実習、体験等を通

して各専攻の特徴をわかりやすく学べる内容になっています。経験豊富な教員陣の講義や各種学習教材を通じた体験型の学習は心躍る内容であり、参加者の満足度は高かったです。専攻探訪のプログラムによっては、学部生や大学院生と直接話ができ、在校生からの生の声は高校生の心に残る貴重な体験になったようです。

校舎で「大学」の雰囲気を感じながらの講義、実習を通じた学習体験や、教職員や在校生との交流は、参加者の本学科への志望の意識を高める機会となりました。「学科への興味がわきました」「実際に北大にきたのは初めてです。すごくすてきなと思ったし、私も『北大生』になってみたいです」「専攻探訪に参加して絶対北大に入りたいと思いました」等の多くの感想をいただきました。オープンキャンパスに参加くださった皆様、将来、北海道大学医学部保健学科の学生として一緒に学べることを教職員一同楽しみにしております。次年度も保健学科の魅力が伝わる、そして、参加者が楽しく参加できる内容を企画していきたいと考えております。興味関心のある方は、ぜひ、保健学科のオープンキャンパスにお越しください。教職員一同、皆様のご参加をお待ちしております。

図1 オープンキャンパス参加者(アンケート回答者331名)

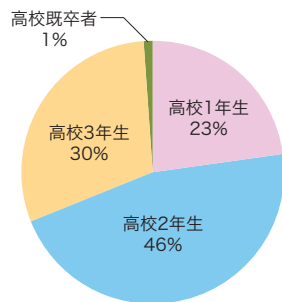


写真1 2022年度オープンキャンパスの様子

表1 2022年度オープンキャンパス専攻探訪プログラム

8月7日	看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻	理学療法学専攻	作業療法学専攻
午前の部	大学での講義を覗いてみよう: "産み育てる"看護を体験!	放射線の身体への影響について	ようこそ不思議な細菌の世界へ	北大理学療法学専攻での生活、学び、研究について知ろう	人の骨格、脳の標本を見てみよう
午後の部	看護のお仕事:人々の健康を守るための取り組み「アルコールパッチで自分の体質を知ろう!」	ラジエーション・ハウスへようこそ-放射線技師への道-	ようこそ不思議な細菌の世界へ	北大理学療法学専攻での生活、学び、研究について知ろう	障害者の運動支援とドライビングシュミレーター
8月8日	看護学専攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻	理学療法学専攻	作業療法学専攻
午前の部	感染症のある人への看護を体験しよう	放射線の身体への影響について	大学で学ぶ、はたらく細胞	北大理学療法学専攻での生活、学び、研究について知ろう	作業療法はこころの病にどのように貢献できるか
午後の部	身体のサインを読み取る	体内で動く腫瘍を狙い撃ち!! ~陽子線治療の世界~	大学で学ぶ、はたらく細胞	北大理学療法学専攻での生活、学び、研究について知ろう	日本のメンタルヘルスを守る作業療法士の仕事とは?